

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援デイサービスくるむ			
○保護者評価実施期間	2025年2月4日		~	2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2025年2月4日		~	2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月1日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者や子どもたちに寄り添った支援を行っている。	保護者や子どもたちの発信している要求・困り感を見逃すことのないようにしている。	情報共有をしっかりとできるようにどのような方法が考えられるかを模索しながらやっていく。
2	特別支援教育にかかわったことのある職員が多い。	これまでの経験から子どもたちの読み取りや対応方法などを意見交換に活かしている。	研修を受ける機会を増やしそれぞれの職員のスキルアップを目指す。
3	環境整備に力を入れている。	随時、改善を考えられるところを追求し形にしている。	外部の方に見ていただき意見をいただくような場を設けることが必要。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所で行っている活動などを保護者に伝えることが不十分だと感じている。	実際にはやっている活動を随時発信できていない。	保護者とのやりとりに使っているアプリHUGの有効な使い方を熟知することが必要。
2	研修を受ける機会が多いが、受講職員の幅をもたせたい。	決まった職員が研修を受講することが多い。	様々な職員が研修を受講できるようにしていきたい。
3	保護者に向けた研修や相談会、懇談会などの企画運営があまりできていない。	目の前の子どもたちの活動に追われ余裕をもって保護者との時間をもつことができていない。	年間スケジュールを立て、計画的に保護者向けの研修会や相談会や懇談会を実施していく。